

六月十八日「ホタテの日」学校給食へホタテ贈呈

本県の最重要魚種である青森ホタテのPRと消費拡大をより一層促進するため、青森県漁業協同組合連合会とむつ湾漁業振興会は、平成十年度に「ホタテの日」を毎年六月十八日と制定した。

これを記念して、去る六月九日（木）、両団体は十和田市と六戸町の小・中学校の学校給食の食材として、ポイルホタテ四百キロ（八千食分）約五十万円相当を十和田・六戸学校給食センターに寄贈し、十和田市役所において給食センターを運営する十和田地域広域事務組合の管理者である中野渡春雄十和田市長に目録を手渡した。



目録を手渡す三津谷会長（左）

三津谷廣明むつ湾漁業振興会会長は「今年は、ホタテガイの生育も順調で、むつ湾のキレイな海で育ったホタテガイは、六月が一番おいしい季節なので、将来を担う子供達に是非、むつ湾ホタテの美味しさを知っていただきたい」と述べた。

中野渡市長は「ホタテガイは健康に良いと聞いているので子供達も喜びます。子供達が地元特産品への関心を高め、自



お礼を述べる中野渡市長

然の恵みの大切さを感じてくれるものと思います。寄贈していただいたむつ湾のホタテガイを大切に調理して、子供達に食べさせます」と、お礼の言葉を述べた。

十和田・六戸学校給食センターでは、寄贈されたポイルホタテを七月十四日の給食で、ホタテとマカロニのクリーム煮に調理して配食した。